特殊詐欺被害アプリで防ぐ

2社が県警と協定

NTTタウンページ（東京）、トビラシステムズ（名古屋市）は県警と特殊詐欺被害の防止に関する協定を結んだ。両社が開発したアプリ「詐欺対策 by NTTタウンページ」の普及を図り、県民に活用を求める。

トビラシステムズは県警から詐欺で使われた電話番号の提供を受ける。同社が持つ迷惑電話のデータベースに反映させ、使われた可能性の高い番号からの着信を遮断、警告表示する。

県警本部で協定締結式が7日あった。県警の佐藤誠生活安全部長は「事業者と連携し、詐欺被害の未然防止に尽くす」と述べた。

NTTタウンページの水藻由哲常務は「アプリの普及は県民の安全を守ることにつながる」、トビラシステムズの藤井仰（あおぐ）執行役員は「電話番号の提供でサービスを向上させ、被害を防ぎたい」とそれぞれ話した。



協定書を手にする（左から）佐藤部長、水藻常務、藤井執行役員

『河北新報』2026年10月24日付12面

【記事使用期限】2027.11.17